

市民からの意見・要望（せとまちトーク）に対する回答

日付	2025/02/20	担当課	生活安全課
参加者の意見・要望			
テーマ：防犯灯の補助金支給			
不公平が出ないよう統一的な施策に検討していただきたい。 町内で支払っている防犯灯の電気料金について、町内会加入・非加入により負担が不公平となる。			
上記に関する理由や状況について			
①取り組みありの場合 《進捗状況及び結果》			
防犯灯の電気料金については市の補助金が入っており、蛍光灯から LED への交換が進んできたことで、補助率はほぼ 100%の状態となっている。 また、自治会・町内会管理により防犯灯を自由に付けることができ、近隣市町より多い設置台数となることで、市域全体へ防犯対策が広がっている。 手続きの簡素化や補助対象の拡大を行っており、瀬戸市第 6 次総合計画に掲げる都市像③「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」のもと施策を進めている。			
②取組なしの場合 《理由》			

日付	2025/02/21	担当課	都市計画課
参加者の意見・要望			
<p>テーマ：インフラ整備が遅れている（道路・交通に対する政策の不案内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通網が他市と比べて脆弱 ・瀬戸駅の橋が通りにくい／窯神橋がだだっ広くて右折が怖い ・コミュニティバスの路線を全路線、全市民が公平性になるように一度リセットして再編成してほしい ・瀬戸川プロムナード 河川工事はいつまでにやるのか。何のために。 ・瀬戸蔵側道がいつも大渋滞しているので、瀬戸蔵側、直進側、右折側をしっかり道路をつくってほしい ・駅／公共施設のバリアフリー化 ・瀬戸市の渋滞がひどい ・通学路が危険／歩道のない道路が多い→通学路には緑色でラインをひく・歩道を作る 			
上記に関する理由や状況について			
<p>Q：交通網が他市に比べて脆弱</p> <p>A：本市の都市計画道路整備率は、周辺の春日井市や豊田市に比べると低くなっておりまして、今後も整備に向け愛知県等の関係者と協議を進めていきます。</p> <p>Q：瀬戸駅の橋が通りにくい</p> <p>A：道路管理者である愛知県に伝えます。</p> <p>Q：コミュニティバスの路線を全路線、全市民が公平性になるように一度リセットして再編成して欲しい。</p> <p>A：コミュニティバスの路線につきましては、各地で人口密度や高齢化の状況、生活利便施設の立地状況や地域ニーズ等が異なるため、地域の実情を踏まえつつ、運行経費や運送収入による収支率も考慮にいれながら効率的・効果的な路線の再編を検討していきます</p> <p>Q：瀬戸川プロムナード 河川工事はいつまでやるのか。何のために。</p> <p>A：河川管理者である愛知県からR9年度完了予定と伺っております。また、整備目的ですが河積断面確保のための工事となります。</p> <p>Q：瀬戸蔵側道がいつも渋滞しているので、瀬戸蔵側、直進側、右折側をしっかり道路をつくってほしい。</p> <p>A：道路管理者である愛知県に伝えます。</p> <p>Q：駅/公共施設のバリアフリー化</p> <p>A：市内の駅では愛知環状鉄道の中水野駅と瀬戸口駅がバリアフリー化されておられませんので、整備に向け鉄道事業者と協議を進めていきます。</p> <p>Q：瀬戸市の渋滞がひどい</p> <p>A：都市計画道路の整備に向け、愛知県等の関係者と協議を進めていきます。</p> <p>Q：通学路が危険/歩道がない道路が多い→通学路には緑色でラインをひく・歩道を作る</p> <p>A：通学路交通安全プログラムに基づき、順次、整備を実施しております。</p>			

日付	2025/02/21	担当課	シティプロモーション課
参加者の意見・要望			
<p>テーマ：瀬戸市の PR が足りない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸市の魅力が活かされていない ・田舎を生かすべき ・瀬戸市は地盤が固い事を PR する ・瀬戸市の教育を更に PR する ・瀬戸エデュケーションツアーを行う など <p>市内外に向けた更なる情報発信をあらゆる手段を使い行うことが必要と考える</p>			
上記に関する理由や状況について			
<p>①取り組みありの場合</p> <p>《進捗状況及び結果》</p> <p>令和6年4月に市の自然・文化・教育・祭事などの魅力を詰め込んだPR動画を公開し、名古屋駅や栄のビジョンで放映。瀬戸で暮らす魅力を伝える小冊子では、市の教育の特徴や近年多い地震に強いまちとしてのPRを行っております。</p> <p>また、令和6年度は移住体験ツアーを実施し、まちや自然、教育環境などを直接ご覧いただきました。その際の広告としてInstagram等で行ったところ、インプレッション数は約12万5千回に及びました。</p> <p>その他、Instagramのリール動画にも力を入れており、若手職員が取材・編集し、「自然スポット」や「ふるさと納税返礼品」などを紹介。また、栄地下街（7/1～7）やイーアス春日井の無印良品などに出展し直接多くの方と対面しPRを行いました。</p> <p>今後も対面をはじめSNSなどを活用し、情報発信に努めてまいります。</p>			
<p>②取組なしの場合</p> <p>《理由》</p>			

日付	2025/02/21	担当課	農業政策課
参加者の意見・要望			
<p>テーマ：食料自給率の100%化を目指す農業施策</p> <p>瀬戸市の今後の農業政策について見える化が必要ではないか</p>			
上記に関する理由や状況について			
<p>①取り組みありの場合</p> <p>《進捗状況及び結果》</p> <p>農業施策を計画的に推進するために、「瀬戸市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」、「瀬戸市農業振興地域整備計画」、「瀬戸市地域農業経営基盤強化促進計画」、「瀬戸市地産地消推進計画」、「瀬戸市食育推進計画」といった計画を定め、各分野における個別計画との整合を図りながら取り組みを進めております。</p> <p>併せて、地域の農業関係団体や農業者等で構成する瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会や瀬戸市地域農業再生協議会において、地域の課題を共有しながら、連携・協働して農業振興に取り組んでおります。</p> <p>各計画等は窓口の他、ホームページや広報せと等を活用し周知・広報を行っておりますが、ご意見のとおり、今後の農業施策の実施に当たり、市民の皆様をはじめ、広く農業関係者が現状と課題を共有・認識しながら、課題解決や目標の達成に向けた取り組みが実行できるよう取り組んでまいります。</p>			
<p>②取組なしの場合</p> <p>《理由》</p>			